

資料 1 2

平成 1 9 年度森林環境基金事業の進捗状況について

森林林業領域 H20.2.29現在

森林環境の適正な保全

1 森林整備事業

事業概要

手入れが行われず荒廃が懸念される公益的機能の高い水源地域の森林について、事前調査及び間伐等の森林整備を実施する

森林整備事業（県営） 2,084ha 事業費 614,500千円

森林整備促進事業（補助） 1,550ha 403,650千円

H 1 8 実績（県営のみ）

当初計画の651haを上回る710ha（当初比 109%）を実施した。
事業費：234,987千円

区分	水源区域		特に緊急に整備すべき森林		備考	
	区域数	私有林面積	(H18-22)	H18実績		
				事前調査		森林整備
県 計	348	163,922	9,000	958	710	単位：ha
県北	20	16,032	640	78	47	
県中	35	45,242	2,470	217	202	
県南	40	28,443	1,380	150	106	
会津	146	21,991	1,270	137	112	
南会津	67	3,841	190	38	21	
相双	27	23,716	1,220	132	90	
いわき	13	24,657	1,830	206	132	

進捗状況

（県営） 森林整備の実績見込は、計画量の約9割強となる見込みである。

区分	事前調査		森林整備		bのうちH20に森林整備を実施する予定のもの d=(a+b)-c	備考
	H18調査分 a	H19調査分 b	H19計画	実績見込 c		
県 計	248	2,285	2,084	1,926	607	単位：ha
県北	31	134	148	152	13	
県中	15	587	549	533	69	
県南	44	365	317	295	114	
会津	25	291	276	240	76	
南会津	17	102	88	75	44	
相双	42	326	282	206	162	
いわき	74	480	424	425	129	

（補助） 平成19年12月補正予算において、森林整備促進事業を創設し実施している。
なお、一部（165,441千円）については、平成20年度への繰越を予定している。

2 森林環境適正管理事業

事業概要

森林情報を一元的に管理するとともに、地図を活用した森林情報を広く県民等に発信するため、森林GISシステムを構築する

森林情報(GIS)活用推進事業 事業費 82,401千円

H18実績

- ・システム開発を実施するにあたり検討委員会を設置し、公募型プロポーザルを実施し、検討委員会の審査によって決定した最優秀提案者と業務委託契約し、基本設計業務及びデータ整備業務を行った。(事業費：78,473千円)
- ・森林認証普及啓発事業については、2月8日に森林づくりシンポジウム(参加者110名)を開催し、講演集を作成した。(事業費：853千円)

進捗状況

- ・業務委託により、森林資源情報システム及び施業履歴管理システムを開発するとともにデータ整備を行っている。検討委員会の有識者による技術的な指導を受けながら進めている。
- ・森林GISを有効に活用するために、GPSを導入(10月)、長伐期に対応した森林情報整備のための調査(11月～3月)を実施している。

森林資源の利用促進

3 間伐材搬出支援事業

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備及び原木市場等への間伐材の運搬を支援する

間伐材運搬経費支援事業	25,000m ³	事業費	30,000千円 (1,200円/m ³)
林内作業路整備支援事業	72,000m		36,000千円 (500円/m)

H18実績

- ・間伐材搬出経費支援16,777m³、事業費：20,133千円
- ・作業路12,000m、事業費：6,000千円

進捗状況

- ・各公所要望に基づき全額配分済み。(最終予算配分月日11/26)
- ・概算払い額 間伐材運搬経費支援事業：12,492千円(42%)
林内作業路整備支援事業：6,522千円(18%)

4 間伐材利用促進事業

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、県有施設工事への間伐材活用、県管理施設等に間伐材を主体とする木材製品や資材の利用展示を行う安らぎの場の創出、間伐材や製材端材等の木質バイオマスの循環利用を推進するペレットストーブの導入及び導入支援を行う。

県有施設の間伐材利活用推進事業	4,547千円
「ほっと」スペース創出事業	4,509千円
ペレットストーブ利用推進事業	8,500千円

H18実績

- ・県有施設の間伐材利活用推進事業は太陽の国さつき荘内装を実施。(事業費：4,654千円)
- ・間伐材利用拡大展示事業は、農業総合センター常設展示、移動タイプは林業研究センターに展示し県内全域貸出利用。(事業費：1,665千円)
- ・ペレットストーブ利用推進事業は、県民ホール、農業総合センターなどに10台設置。(事業費：2,921千円)

進捗状況

- ・県有施設の間伐材利活用推進事業
 - 猪苗代湖長浜駐車場四阿建築（生活環境部 2/4供用開始：4,547千円）
- ・「ほっと」スペース創出事業
 - 喜多方合同庁舎ロビーにテーブル2台、ベンチ3台等設置（事業費684,810円）
 - いわき合同庁舎県民ホールにテーブル1台、イス6脚、県立磐城農業高等学校にベンチ5台、プランターボックス10個設置（事業費540,802円）
 - 郡山合同庁舎入口に掲示板5基、ベンチ2台、テーブル1台設置（事業費599,550円）
 - 会津田島駅にベンチ8台、会津下郷駅にベンチ6台、会津高原尾瀬口駅にベンチ4台設置（事業費600,600円）
 - JR新白河駅にベンチ8台、サイドテーブル8台、案内標示板2基設置（事業費661,500円）
 - 相馬海浜自然の家にテーブル7台、大野病院に掲示板5基設置（事業費582,750円）
 - 県立図書館にはベンチ6台、衝立3基、ゴミ箱6個、行灯型看板3個設置予定（事業費762,000円、2月25日発注済）。
- ・ペレットストーブ利用推進事業
 - 磐城農業高校、県中合同庁舎など14箇所の設置完了。福島型ペレットストーブについては、県民ルームに1台設置予定（3月5日）
 - （合計で、県有施設に15台のペレットストーブを導入予定。事業費 6,000千円）
 - また、民間施設等への導入支援については、12月10日時点で50台の募集台数に達したため、本年度分の募集を終了した。（支援内容 5万円/台 平成19年度の支援台数50台 事業費 2,500千円）

県民参画の推進

5 森林環境学習推進事業

事業概要

県民を対象として、各流域の特色を活かした森林環境セミナーを開催するとともに、森林環境学習に必要なフィールドの整備を行い、森林環境学習の推進を図る。

森林環境セミナー開催事業	2,776千円
森林環境学習の森整備事業	10,282千円
森林環境学習の森整備	(2,406)
学校林森林環境学習の森整備	(7,876)

H18実績

・森林環境セミナー開催事業(2,774千円)

会津流域	9月9日(猪苗代町)	123名
阿武隈川流域	10月29日(矢吹町)	136名
奥久慈流域	10月28日(棚倉町)	102名
磐城流域	10月28日(川内村)	169名
計		530名参加

・森林環境学習の森整備箇所は翁島県有林(会津)、沼尻県有林(会津)の2カ所を実施。

(事業費:2,594千円)

・森林ボランティア活動フィールドの設定については、県内14箇所のフィールドについての林況と施業計画を盛り込んだ報告書が完成。ボランティアサポートセンターに提供して今後活用。

(事業費:4,285千円)

進捗状況

・森林環境セミナー開催事業は、流域毎に実施することとしており、実施事務所(県中、県南、会津、相双)で実施済み。

会津流域	9月8日(猪苗代町)	102名(事業費:683千円)
阿武隈川流域	11月18日(須賀川市)	100名(事業費:683千円)
奥久慈流域	10月28日(鮫川村)	103名(事業費:662千円)
磐城流域	11月4日(新地町)	108名(事業費:594千円)

・森林環境学習の森整備は、事業実施中。

村火県有林(県南:事業費1,103千円10/24契約)

県民の森(事業費1,365千円1/22契約)

・学校林森林環境学習の森整備は、事業実施中。

田島高校(南会津:事業費4,410千円11/26契約)

磐城農業高校(いわき:事業費2,100千円12/27契約)

6 森林ボランティア総合対策事業

事業概要

森林づくり活動の広報、森林ボランティアに関する情報収集・提供、相談窓口業務等を行う森林ボランティアセンターを設置するとともに、森林づくりを先導する事業やボランティア団体の活動を支援するほか、企業の森林づくりへの参加を推進する。

森林ボランティアセンター設置事業	5,421千円
森林ボランティア活動推進事業	7,798千円
森林ボランティア活動活性化事業	(1,798)
森林ボランティア団体活動支援事業	(6,000)
環境貢献企業の森林保全参加推進事業	697千円

H18実績

- ・森林ボランティアセンターは、県民の森内に6月1日オープン。(事業費：5,123千円)
- ・森林ボランティア活動活性化事業は、うつくしま21森林づくりネットワークの森林づくり推進連絡会議開催、森林づくり活動発表交流会開催に、1,880千円を補助。(延べ186名参加)
- ・森林ボランティア団体活動支援事業は、18団体(19件)に対し4,471千円を補助。

進捗状況

- ・森林ボランティアセンターは、引き続き県民の森内に設置。
(アクセス件数 33,351件 2月29日現在 3,032件/平均)
ホームページによるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行っている。今後もHPの充実や広報誌(森ボラ新聞 年4回発行)などにより森林づくりへの県民参画をサポートしていく。
- ・森林ボランティア活動活性化事業は、うつくしま21森林づくりネットワークに対し、4月9日に補助金交付決定、森林づくり推進連絡会議を6月と9月に開催し、森林づくり活動発表交流会を11月24,25日に福島市において開催し、延べ120名が参加した。(H18は西会津町で実施(延べ186名参加))。また、3月に森林づくり推進連絡会議で今後のうつくしま21森林づくりネットワークについて検討する。
- ・森林ボランティア団体活動支援事業は、19団体に対し補助金4,349千円の交付決定をした。
- ・環境貢献企業の森林保全参加推進事業では県内企業150社に対して、森林づくりについての意向調査を実施した。

意向調査結果 回答 52社 (35%)

森林づくり活動を行っている、行ってみたい	24社(52社中)
行政に求めるもの	情報の提供 10社(")
	活動場所の紹介 7社(")
	イベントの紹介 6社(")
	総合的なコーディネート 6社(")

意向調査を踏まえた、企業への支援(H20)

森林づくりのコーディネート(情報提供、相談、各種紹介、協定締結、指導)
新たなフィールド調査と確保を行い、活動場所を紹介する。

7 もりの案内人等指導者養成事業

事業概要

もりの案内人を養成するため、審査委員会や養成講座を開催するとともに、森林環境やその指導方法に関する研修会及び森林整備ボランティア団体のリーダーを養成する

もりの案内人第2期養成事業	2,134千円
森林づくり指導者養成事業	1,814千円
森林環境学習指導者育成	(571)
森林ボランティアリーダー養成	(1,243)

H18実績

- ・もりの案内人26名に認定証交付。平成9年からの累計認定者311名。(事業費：1,898千円)
- ・森林環境学習指導者育成は、参加者43名。(事業費：348千円)
- ・森林ボランティアリーダー育成講座研修終了者22名(参加者23名)。(事業費：944千円)

進捗状況

- ・平成19年度もりの案内人(第2期)養成講座を6月22日に開講、1月20日まで計5回(のべ15日)実施。認定予定者32名(平成20年3月15日認定証交付式)
- ・森林環境学習指導者育成は6月30～7月1日 県民の森においてもりの案内人等を対象に実施、参加者20名。(事業費：189千円)
- ・森林ボランティアリーダー育成講座は8月22日に開講、11月2日まで計8講座(延べ6日間)を実施。(社)福島県林業協会に委託。今年度は19名が全講座修了(受講者24名)し、平成18年度からの累計修了者41名。(昨年度の研修修了者22名(受講者23名))
- ・平成19年度より森林ボランティアリーダー育成講座受講者のうち、5日間以上の森林整備の指導実績を積んだ者を福島県グリーンフォスターに認定。現在、6名を認定審査中。

8 みんなで育てる海辺の松林整備事業

事業概要

ふるさとの海岸松林を大切にする愛着心等を育むため、住民やボランティア団体との連携を図りながら、森林環境学習会及び荒廃した海岸沿いの保安林における作業体験を実施する

森林環境学習会及び作業体験(木柵整備、森林整備)5回 事業費 2,873千円

H18実績

10月14日(相双)、10月15日(いわき)、10月28日(相双)、10月29日(いわき)
11月12日(いわき)実施。(事業費：1,856千円)

進捗状況

6月10日(いわき)、11月17日(相双)、12月1日(相双)、12月3日(いわき)実施。
(計4回実施,事業完了)

9 県立学校における森林環境学習推進事業

事業概要

県立高校において、森林を守り育てる意識の醸成等を図るため、木炭づくりやサギソウの保全、森林観察などの体験的な森林環境学習を実施する

木炭づくりによる環境学習実践（会津農林高）	770千円
サギソウの保全と増殖を通じた森林環境学習（岩瀬農高）	3,409千円
体験しよう安達太良、考えよう福島 <small>の</small> 森林と環境（福島西高）	129千円

H18実績

会津農林高校	炭窯づくり、炭材生産。事前学習（製炭、炭の効用）の実施 製炭、地域への普及活動、研究のまとめ（事業費：2,055千円）
岩瀬農業高校	森林調査、水質調査と浄化の取組み、サギソウ苗の定植、種子採取、 種子の無菌繁殖、学校内外における成果発表（事業費：1,051千円）

進捗状況

会津農林高校	6月着手、ドラム缶窯を使った事前練習を実施。 8月に2年生による間伐実習を実施。 10月に薪割り機の購入、3年生による間伐実習を実施。 1,2月に製炭実習を実施（3月にも予定）。
岩瀬農業高校	4月事業着手、森林調査、水質調査と浄化の取組み、サギソウ苗の定植 1月に学校内、2月に校外における成果発表を実施
福島西高校	7月30日（月）、県民の森等を会場として実施。 講師：福島大学 共生システム理工学類 准教授 黒沢高秀 野外活動や講義などを通して当県の森林と環境について学習した。

森林文化の復興

10 ふくしまの森林文化復興事業

事業概要

ふくしまの森林文化を見直し、現代生活に活かしていくため、地域に根ざした森林文化を掘り起こし、データベースを作成して県民に分かりやすい形で公表する

事業費 6,954千円

H18実績

調査業務をシンクタンクふくしまに委託

検討委員会を開催し、森林文化の捉え方、情報収集の方法、森林文化の活用方法について協議しながら、市町村史等により基礎的な情報を幅広く収集し、収集した情報の整理・報告書の取りまとめを行った。（事業費：3,409千円）

進捗状況

- ・ H19.7.30付けで特定非営利活動法人超学際的研究機構に業務委託した。検討委員会を開催し（第1回10月5日、第2回1月20日）、有識者の指導の下に、森林文化事例の詳細調査、データベースの構築を進めるとともに、森林文化フォーラムの開催（1月20日開催）等の効果的な広報の仕方について具体的な検討を進めてきた。

森林環境の調査研究

11 森林整備効果実証事業

事業概要

森林整備による効果を実証するため、森林整備事業のモデル地域において、水環境の変化等を調査研究する

事業費 4,089千円

H18実績

業務を超学際的研究機構に委託

調査方法（量水試験、水質試験等）調査地2箇所（二本松市、白河市）について決定
二本松市の調査地において調査機器を設置（事業費：4,726千円）

進捗状況

業務を超学際的研究機構に委託（6月）

昨年度に引き続き調査地1箇所（白河市）について調査機器を設置し、併せて2箇所（量水試験）で観測を実施している。

12 ペレットストーブ研究開発事業

事業概要

木質バイオマスのエネルギー利用を推進するため、ペレットストーブ・ボイラーの研究開発等を行う

事業費 873千円

H18実績

プラン公募し、審査委員会を開催し業者を決定、(株)コスミック(郡山市)と契約を締結。
試作機が完成。（事業費：3,259千円）

進捗状況

ペレットストーブデザイン補助については、執行取り止め。

また、NPOと協働で、林業祭（木材フェア）、JAまつり等のイベントに出展し、ペレットストーブ、県産ペレット、木質バイオマスに関するPR活動を実施した。

13 間伐材及び木炭を利用した水質浄化技術研究事業

事業概要

間伐材、木炭等の積極的な活用を推進するため、木工沈床や木炭等を活用した水質浄化について調査研究する

事業費 1,937千円

H18実績

研究計画を策定し、試験地を猪苗代町の水田排水路に決定。

排水路内に木炭浄化施設を設置し、水質分析を実施。

室内試験を実施し、木炭浄化施設の効果等について検討。(事業費：1,832千円)

進捗状況

- ・木製水路(木炭を含む)による水質浄化試験
農業総合センター内のほ場に木製水路(木炭含む)を設置(5月)
水質浄化試験(5月、7月、9月)
- ・木工沈床によるビオトープ形成の確認
内水面水産試験場の水槽に木工沈床を設置・モツゴの放流(6月)
モツゴの増殖効果確認(10月～11月)
- ・試験研究を終了し、3月12日に結果を取りまとめ。

森林環境基金の運営

14 森林環境基金運営事業

事業概要

森林環境税に対する県民の理解を深めるため、パンフレット配布やホームページ等による広報、フォーラムの開催等を行う

森林環境税関連施策PR事業 事業費 6,574千円

森林の未来を考える懇談会運営事業 1,210千円

H18実績

PR事業(事業費：5,150千円)

- ・森林環境税のあらましと用途に関するチラシを作成、5～6月に市町村を通じ配布したほか、パンフレット(県民憲章、税と用途)やホームページによりPR。
- ・福島県林業祭及び県庁県民ホールにおいて、県内の名水(10種)を紹介しながら、森林環境基金事業をPR。
- ・森林環境フォーラムを開催
講演や事例発表により、県民参画による新たな森林づくりについて理解を広めた。
(参加者200名)

懇談会運営（事業費：764千円）

・懇談会を4回開催

主な内容 森林環境交付金事業（地域提案重点枠）の審査
平成18年度事業の調査（現地調査を含む）

進捗状況

- ・パンフレット（県民憲章、税と使途）、グッズ（鉛筆、カットパン）、ホームページによりPRしている。
- ・県政広報ラジオ（イブニングブレイク）、月間広報誌（林業福島）により、定期的（月1回）にPRしている。
- ・メディアツアーを実施し、県政記者に事業実施箇所を紹介して、事業をPRした。
- ・林業祭や林業会館ショウウインドウにおいて、県内の名水(11種)を紹介しながら、森林環境基金事業をPRした。
- ・水源区域の森林整備交流会（7生活圏ごと）を開催し、上下流の交流の中で森林整備の重要性をPRした。8月8日に実施した県南の取り組みについては、県政広報番組「おしえて！うつくしま（FCT）」で放映した。
 県北11/23実施23名参加、県中10/7実施23名参加、県南8/8実施123名参加、
 会津11/18実施45名参加、南会津10/14実施37名参加、相双8/18実施40名参加、
 いわき1/26実施20名参加。 参加人数計311人（平均44人）
- ・森林文化フォーラムを開催し、広く森林文化を紹介し森林を守り育てる意識の醸成を図った（1月20日開催、200名参加）
- ・森林の未来を考える懇談会の開催（年間計5回開催予定。6,8,10,12,2月）
 - 第1回懇談会（6月7日開催）
 事業評価と見直しについて協議。
 平成19年度森林環境交付金事業（地域提案重点枠）の追加分を審査
 - 第2回懇談会（8月7日開催）、第3回懇談会（10月23日開催）
 事業評価と見直しについて協議
 - 第4回懇談会（12月17日開催）
 平成20年度森林環境交付金事業（地域提案重点枠）の審査
 - 第5回懇談会（3月26,27日開催予定）
 平成19年度事業の調査（現地調査）

市町村が行う森林づくりの推進

15 森林環境交付金事業

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫をこらした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する

森林環境基本枠 全ての市町村が一定の取り組みを継続的に実施する 79,075千円

【対象分野】 県民参画の推進
森林の適正管理推進
森林環境学習の推進

地域提案重点枠 市町村の創意工夫による優れた提案事業 205,830千円

【対象分野】 森林整備の推進
県産間伐材の利活用推進
木質バイオマスの利活用推進
その他

H18実績

・森林環境基本枠

79,380千円、60市町村実施(いわき市7,069千円～湯川村490千円 平均1,323千円)
森林環境教育実施校、小学校281校、中学校96校、計377校(全校の47%)

・地域提案重点枠(事業申請:29市町村、51件、要望事業費:137,570千円)

懇談会において審査。28市町村、42件、94,518千円について採択。
最終的な実績90,553千円

進捗状況

・森林環境基本枠

3/29付で予算配分79,075千円(いわき市7,004千円～湯川村538千円 平均1,318千円)
森林環境教育実施校(累積見込み)小学校363校、中学校123校、計486校(全校の61%)

・地域提案重点枠(事業申請:44市町村、102件、要望事業費:243,941千円)

平成18年12月11日開催のH18第3回森林の未来を考える懇談会において審査。
44市町村、91件、179,356千円を採択。

・地域提案重点枠追加要望(事業申請:9市町村、25件、要望事業費:66,031千円)

平成19年6月7日開催のH19第1回森林の未来を考える懇談会において審査。
8市町村、14件、33,654千円を採択。

(うち、野生動物との共生森林整備 8市町村、11件、28,696千円)

重点枠計 45市町村、105件、213,010千円を採択

・地域提案重点枠の実績見込み

45市町村、104件、189,642千円(主な変更:喜多方市飯豊山登山道とりやめ)

会津若松市ペレットストーブ減30 22)